

## 岳陽留学だより 1

本年度、沼津市の友好都市湖南省岳陽市の湖南理工学院へ、岳陽市の公費生（学費・指定教材費・宿舍費免除）として留学している遠藤裕昭です。

8月末より約3ヶ月の間という短い留学生活ですが、私の留学生生活を皆さんにご紹介します。

岳陽に来て早1ヶ月が過ぎました。こちらの生活にはだいぶ慣れましたが、ただでさえ会話レベルが低い上、お店の人が岳陽なまりなので全く伝わらない。よく使う言葉はお互い“听不懂”つまり、“わかりません”。まあ細かい商品の説明が聞けないけれど、なんとか買い物はできるのであまり不便は感じていません。それからもう一つ、学校が広いので毎日長い距離を歩くことも大変です。

今回は私が留学している学校を紹介します。

正式名は<湖南理工学院>。事務棟です（写真1）。この3階に国際交流事務室があり留学生や外国の友好行事等を取り仕切っています。学校の新聞部門等多くの人が働いています。またこの奥には20棟近くの5階建てのアパートがあり先生や女子学生が住んでいます。学院は、周囲全体塙で囲まれていて、他にもレストランや日用品を扱う雑貨店（毎日寄っていたら店主ご夫婦とも仲良しになりました。写真2）などもあります。

希望門（写真3）は、大学の入り口に最初にできた門です。現在は新しく南院（南門）があり、希望門を東院（東門）、事務棟を北院と言います。私は今、月曜日から木曜日の2教科（1教科90分）と金曜日の1教科を、大学2年生の人達と一緒に勉強（基本的には聴講する形）しています。最初は先生と思われていたようですが、最近日本の留学生ということが分かって多くの人が話しかけてくれます。

中国現代文学の授業風景です（写真4）。先生の発音はなまっているし、黒板の字も全く分かりません。次は日本語学科のクラスです。約25人のクラスが2つあり、火曜日と木曜日の朝2回授業をしています（写真5）。まだ4回目の授業なのに、みんなよく勉強している印象を受けました。ファンファン先生も私の事をよく面倒見てくれるし、やはり日本人は珍しいのか私を歓迎してくれます。

学校の中も非常に広く、校舎（やはり16棟以上）に沿って湖が望め（写真6）、食堂・銀行・飲食店等あちこちにあります。

この車はデンピンチャー（电瓶车。写真7）といって校内を行き来するバスのようなもので、1回1元で乗れます。広い校内では、宿舍から教室まで歩くと20分位かかります。デンピンチャーがあってよかった～～。

次回は学校のまわりの店などを紹介したいと思います。



1



2



3



4



5



6



7